

平成 30 年 11 月 20 日

関係各位

全国キャラバン・メイト連絡協議会  
事務局長・菅原 弘子

## 2. 認知症サポーターキャラバン 平成 30 年度 表彰・報告会 のご案内

拝啓

初霜の候、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

また、平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当連絡協議会では厚生労働省の補助事業として「認知症サポーターキャラバン 平成 30 年度 表彰・報告会」を開催いたします(プログラム参照)。

つきましては、下記の通りご案内申し上げますので、万障お繰り合わせの上、是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。

敬具

### 記

主催： 全国キャラバン・メイト連絡協議会

日時： 平成 31 年 2 月 2 日(土) 13:00～17:10

会場： 砂防会館 別館シェーンバツハ・サボア(定員約 1000 人)

東京都千代田区平河町 2-7-5

内容： プログラム参照

参加費： 無料

※当日、参加された方にもみスペシャルリング\*、エコバッグを提供いたします。

\* 表彰・報告会でのスペシャルリングの提供は今年度限りです。

以上

特定非営利活動法人  
地域ケア政策ネットワーク  
全国キャラバン・メイト連絡協議会  
〒162-0843 新宿区市谷田町 2-7-15  
近代科学社ビル 4 階  
Tel03-3266-0551 Fax03-3266-1670  
担当：土屋、加倉井、徳永

# 認知症サポーターキャラバン 平成30年度 表彰・報告会 プログラム(予定)

13:00～13:05 開会挨拶

13:05～13:10 挨拶 厚生労働省

## 〈第1部〉【表彰】と実践報告

今年度、全国で約1060万人に達した認知症サポーター。今やサポーターは地域で認知症の人やその家族を支える担い手として欠かせない存在となっている。サポーターの活動の先進的事例、サポーターの活動を推進するステップアップ講座展開工夫事例等を表彰し、全国のサポーター、メイトの活動のヒントとなる実践例を報告する。

13:10～13:50 表彰式

サポーター講座開催回数上位キャラバン・メイト 5名  
認知症サポーター養成状況 平成30年度上位自治体 4自治体  
キッズサポーターによる創作・活動  
優良活動事例 5団体  
サポーターの活動(自治体・企業)  
ステップアップ講座工夫事例

13:50～15:30 優良活動事例の実践報告(5団体程度)

15:30～15:40 10分 休憩

## 〈第2部〉【講演・報告】

認知症を正しく理解することを契機に、地域に根差した活動を実践している認知症サポーターが日本全国で多数誕生している。2019年度の厚生労働省の概算要求においても、認知症の人と認知症サポーターの活動を結びつける事業の構築が盛り込まれている折、認知症サポーターの養成数や活動状況が地域住民の日常にどのような効果をもたらしているか、その可能性を最新データに基づき検証する。

15:40～16:40 データからみる認知症サポーターの可能性

～認知症サポーターを地域の活性剤とする

日本福祉大学 社会福祉学部 社会福祉学科  
准教授 横山 由香里

16:40～17:00 認知症サポーターキャラバン最新情報 サポーターが果たす可能性

アンケート「認知症サポーターが実践している活動」についての中間報告

全国キャラバン・メイト連絡協議会

17:00 閉会

